

資料 1

平成 21 年度社会実験中間報告

1. 支線・地区内路線の運行サービスの検証

(1) 実施目的

通院・通学などの生活交通を確保し、自宅からバス停まで遠い方の利便性を高めるため、電話予約、又は曜日運行により、バスが通っていない集落内を運行しサービスの検証を行う。

(2) 実施内容

- 1) 対象路線 前浜線、度津線、宿根木線
- 2) 実施期間 平成21年10月1日～平成22年3月31日

(3) 実施状況

■ デマンドバス利用状況 (平成22年2月10日現在)

前浜線	度津線	宿根木線	合計
2人	11人	2人	15人

■ 宿根木線補完路線利用状況

小木⇒羽茂 8:30発		小木港佐渡汽船	小木山本町	小木	小比叡入口	堂釜	井坪	大浦	木流	田野浦	江積	金田新田	琴平神社前	小木本町	小木	小木山本町	小木港佐渡汽船	小木入口	小木温泉前	市振崎	井尻	大浦	岡田入口	羽茂高校前	菅原神社入口	羽茂商工会前	一の宮入口	羽茂商工会前	利用人数 合計	
10月	乗車数 降車数	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	15 0	0 4	0 1	0 3	0 0	0 3	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 5	0 0	0 0	0 0	0 0	16
11月	乗車数 降車数	0 0	0 0	2 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	11 2	0 6	0 2	0 0	0 2	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2	0 0	0 0	0 0	0 0	14
12月	乗車数 降車数	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	17 0	0 2	0 7	1 1	0 3	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 1	0 0	0 3	0 0	18
1月	乗車数 降車数	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0	17 0	0 5	0 5	1 1	0 3	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 4	0 0	18
計	乗車数 降車数	0 0	0 0	2 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 0	1 0	60 2	0 17	0 15	1 5	1 6	0 6	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 8	0 0	0 0	0 7	0 0	66

羽茂⇒小木 12:50発		羽茂高校前	菅原神社入口	羽茂商工会前	一の宮入口	羽茂商工会前	羽茂高校前	岡田入口	大浦	井尻	市振崎	小木温泉前	小木入口	小木山本町	小木	小比叡入口	堂釜	井坪	大浦	木流	田野浦	江積	金田新田	琴平神社前	小木本町	小木	小木山本町	小木港佐渡汽船	利用人数 合計	
10月	乗車数 降車数	5 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 6	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 8	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	12
11月	乗車数 降車数	2 0	0 0	0 0	0 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 2	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	6
12月	乗車数 降車数	3 0	0 0	0 0	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 1	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 6	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	8
1月	乗車数 降車数	3 0	3 0	0 0	0 0	3 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 6	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	15
計	乗車数 降車数	13 0	3 0	0 0	0 0	2 0	5 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	16 7	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 1	23 0	0 0	0 2	0 2	0 0	0 0	41

※ 金田新田から小木間については、曜日運行（月・水・金）にもかかわらず利用者が見込まれる。

アンケートの概要

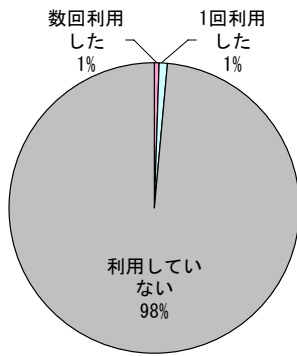
回答者 666 名

■ デマンド運行の利用について

デマンド運行を運行していることは 498 人 (77%) の人が知っているが、実際に利用する人は数パーセントである。

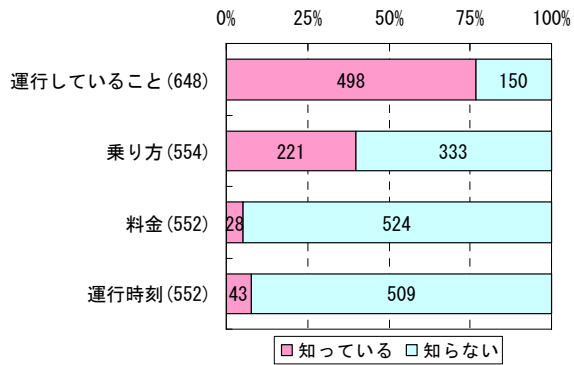
運行していることは知ってはいるが、利用する機会が少ないことから「乗り方」など運行内容について、認知度が半数にも達していない。

〔デマンド運行を利用したこと〕



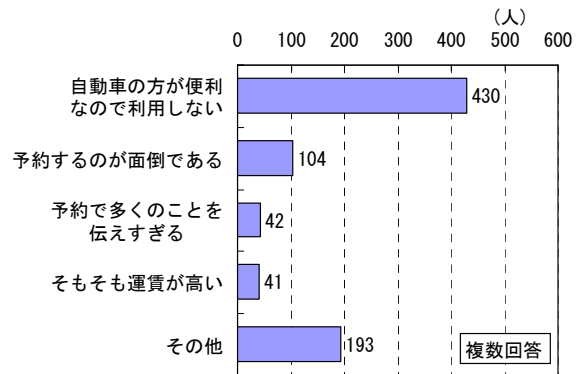
N=645

〔デマンド運行の認知度〕



■ 利用しない理由

自動車の普及率が高いこともあるが、やはり予約方法が複雑であることから、内容の見直し等が必要であると考えます。



■ 普段の外出状況

デマンドバスが運行された地区では、いずれも、普段の外出する目的地が、佐和田方面である。そのため、利用したい目的地とバスの行き先が異なるため、利用しにくい状況である。デマンド運行の対象路線の変更や行き先の新規設定などの見直しが必要である。

デマンドバスが運行されていない地区でも、佐和田地区へと外出している。

学校区	赤泊 (デマンド)	赤泊 (その他)	大滝 (デマンド)	深浦 (デマンド)	深浦 (その他)	羽茂	川茂	小木	総計	
回答者数	229	119	75	39	15	390	73	533	1473	
目的地 (複数回答)	佐渡総合病院	32	20	5	4	4	42	8	77	192
	羽茂病院	6	3	8	1	3	19	0	64	104
	佐和田病院	5	0	1	0	1	7	1	7	22
	小木地区	2	7	4	9	3	42	1	101	169
	赤泊地区	63	25	2	0	0	8	16	124	124
	羽茂地区	28	21	28	9	1	124	13	91	315
	真野地区	16	4	6	2	1	16	9	20	74
	佐和田地区	68	34	18	12	2	118	22	141	415
	その他	9	5	3	2	0	14	3	22	58

※目的地の回答が20%以上の箇所を濃く表示

2. 観光二次交通の充実

(1) 実施目的

主要観光地に接続する路線を運行することにより、観光客の利便性の向上を図る。

(2) 実施内容

- 1) 対象路線 本線、南線、七浦海岸線、小木線、トキの森シャトル
- 2) 実施期間 平成 21 年 7 月 4 日～平成 22 年 11 月 29 日までの土日祝日

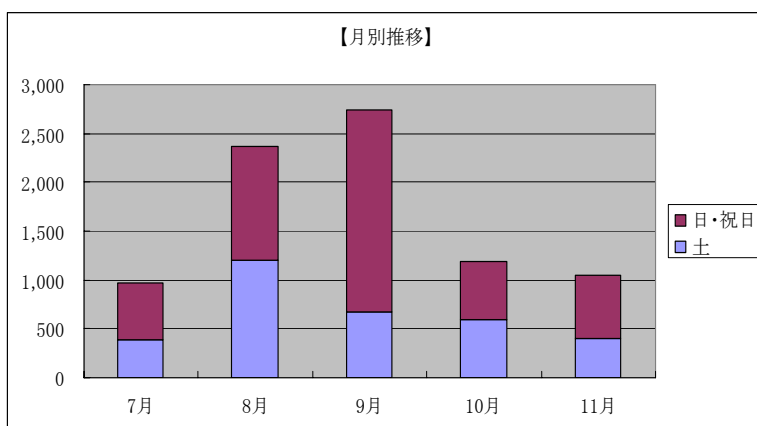
(3) 実施状況

■月別停留所（観光地）利用者数推移

	土	日・祝日	合計
7月	383	583	966
8月	1,201	1,166	2,367
9月	671	2,075	2,746
10月	598	591	1,189
11月	397	644	1,041
計	2,853	4,415	8,309

7月開始時の利用が低い点については周知不足が原因でないかと考えられる。

9月は大型連休の影響もあるが、10月以降については観光シーズンの終了に伴う低迷ではないかと考える。



■停留所別利用状況

	土	日・祝日	合計	1日平均利用者数
佐渡金山前	637	1,099	1,736	34.0
佐渡版画村	62	80	142	2.8
相川郷土博物館	55	83	138	2.7
大膳神社	56	47	103	2.0
妙宣寺	91	107	198	3.9
国分寺	26	32	58	1.1
吉岡臨時バス停	28	35	63	1.2
佐渡歴史伝説館	297	658	955	18.7
尖閣湾達者	86	166	252	4.9
尖閣湾揚島遊園	138	274	412	8.1
ゴールドパーク	110	288	398	7.8
宿根木	53	115	168	3.3
沢崎	20	32	52	1.0
両津港	647	920	1,567	30.7
椎崎温泉	38	35	73	1.4
能舞台前	92	90	182	3.6
潟上温泉	92	101	193	3.8
トキの森公園	659	895	1,554	30.5
1日平均利用者数	187	230	211	9.0

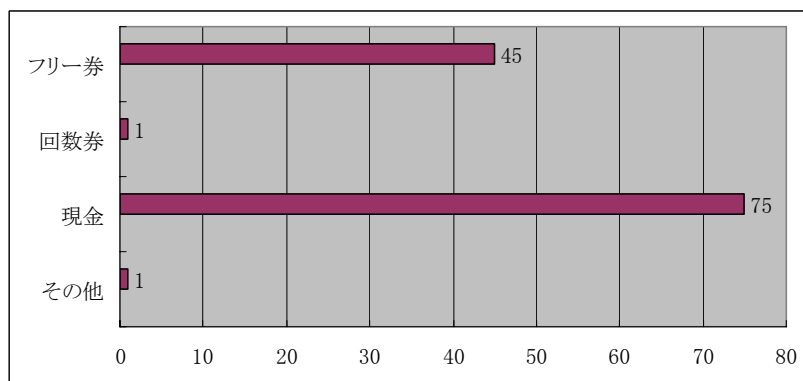
利用者のニーズは、主に佐渡金山、トキの森公園に集中している。佐渡歴史伝説館については、ニーズもあるかもしれないが、路線接続点ということもあり利用数が伸びたのではないかと推測される。

アンケートの概要

回答者 119 名

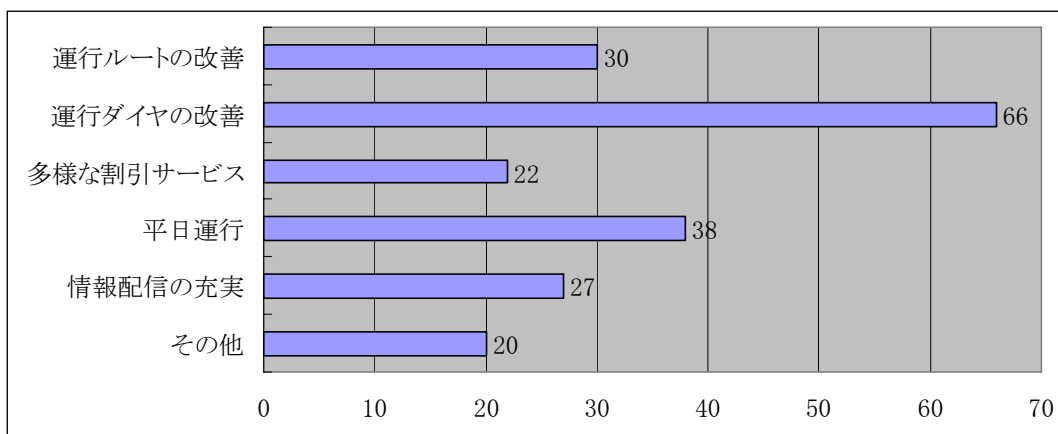
■利用の効果

観光二次交通の実施により、路線バスフリー乗車券の売上が対前年比 180%増加している。



■改善要望

改善要望としては、主にダイヤ、ルートの見直しが望まれている。その他に平日運行の要望もある。また、停留所表示等の不満もあるので改善が必要である。



※主なその他意見

- ・バス路線図や乗り継ぎを考えたおすすめモデルコースの設定をしてほしい。

■観光地経由路線バスを利用して不満に感じた点（主な意見）

- ・乗り継ぎに関して接続が良くないと辛い
- ・バスの本数が少ない。(30分に1本走っていると良い)
- ・バスの行先表示を大きくしてほしい。停留所の表示も分かり辛い。

3. 高齢者の外出支援と公共交通の利用促進

(1) 実施目的

高齢者の路線バスを利用した外出支援と、外出機会の増加を図る。

(2) 実施内容

- 1) 対象者 75歳以上の高齢者
- 2) 実施内容 路線バスを、1乗車200円で、月4回(乗車)利用できる。佐渡島内の路線バス全路線で利用できる。
- 3) 実施時期 平成21年7月1日～平成22年3月31日

(3) 利用状況

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
割引券販売件数	1,250	1,182	1,102	1,056	1,003	945	776	7,314
割引券利用枚数	3,952	3,593	3,495	3,270	3,029	2,883	2,365	22,587
払戻枚数	209	166	159	145	130	128	91	1,028

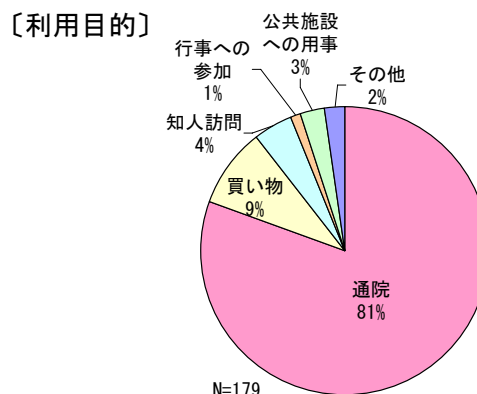
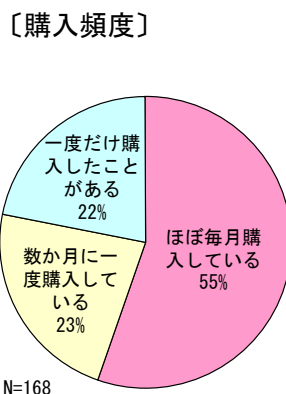
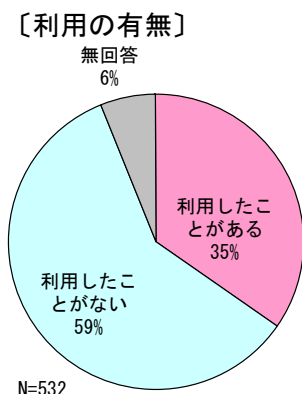
■利用者数

アンケートより、割引サービスを利用したことがあるとの回答が35%
 よって35%の方がサービスを利用。
 サービス対象者(75歳以上)は13,930人(住民基本台帳:H21.9.30)
 サービス利用者数は4,875人(=13,930×35%)と想定される。
 新規利用者は780人(=4,875×16%)と想定される。

アンケートの概要 回答数 613名

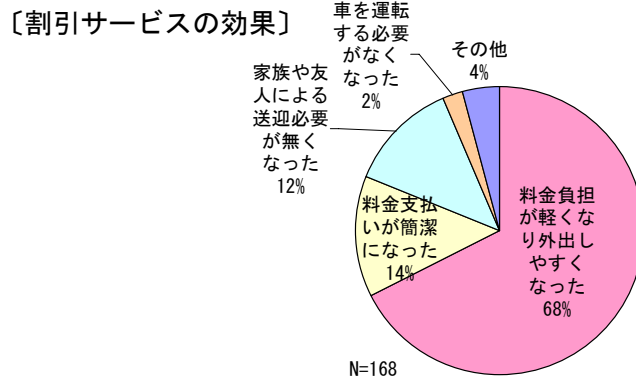
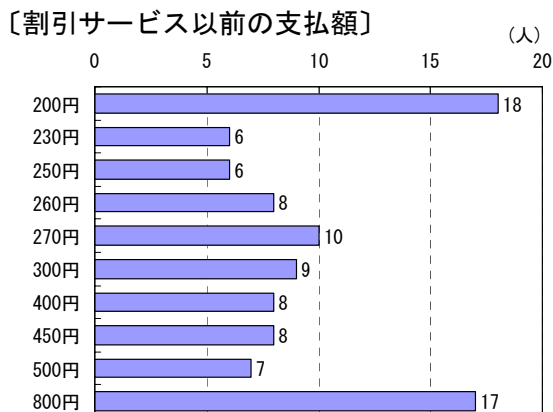
■利用状況について

割引サービスを利用した人は35%であるが、利用されている人の約55%は毎月購入している。その利用目的は、「通院」時に利用する人が多い。



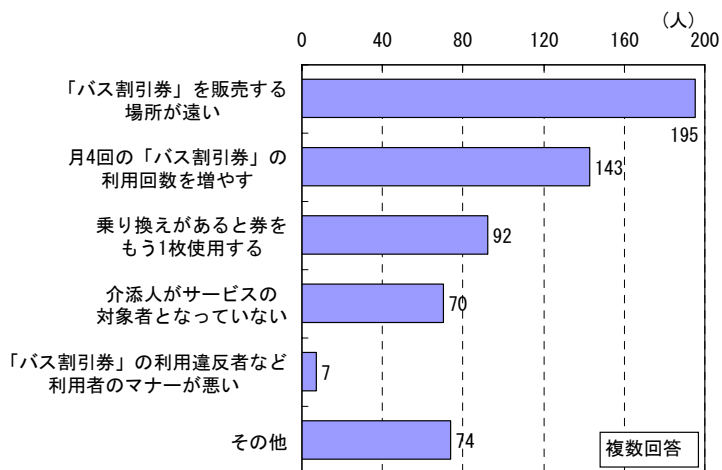
■利用の効果

割引サービスの影響が少ない人もいるが、800円を支払っていた人にとっては、大きな効果である。割引サービスの最も大きな効果は、「料金負担が軽くなったことにより外出しやすくなった」と回答した人が68%であった。



■改善要望

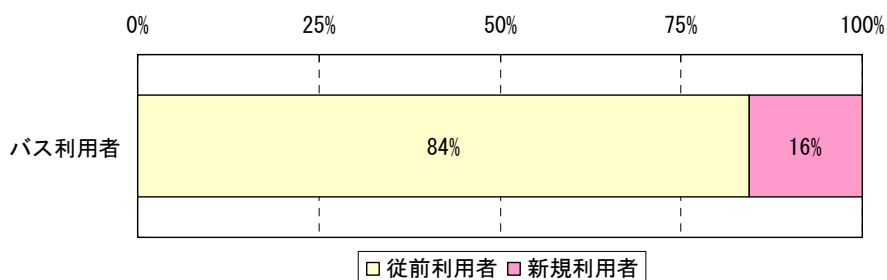
改善要望としては、購入場所が限定されていることから、販売場所の増設が望まれている。



■実施の効果

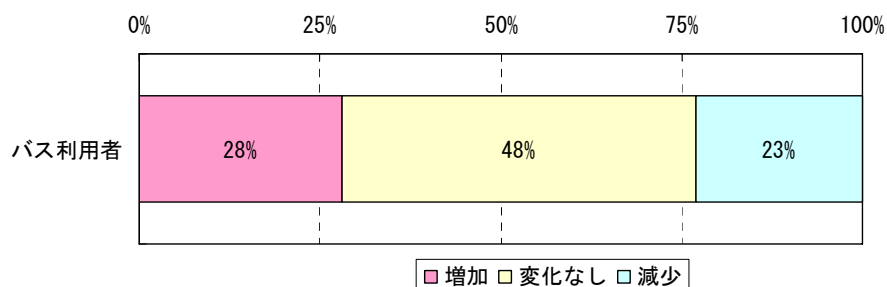
〔新規利用者〕

現在、バスを利用している人のうち、6月以前はバスを利用していなかった人の割合は16%であり、新規利用者に該当する。



〔利用回数の増加〕

現在、バスを利用している人のうち、28%の人が利用回数が増加したと回答している。



4. 路線バスの利便性向上とノーマイカーデー等の実施による利用促進

(1) 実施目的

輸送効率の良い路線バスやCO₂を排出しない自転車などの環境にやさしい交通手段を利用することにより、省エネルギーなどの環境に関する島民意識を醸成するとともに、公共交通への自発的転換を促すことを目的とする。

(2) 実施内容

1) 対象者 行政職員（国、県、市職員）、企業関係者、一般市民

2) 参加者数 のべ650人

	24 (火)	25 (水)	26 (木)	27 (金)	合計
市職員	46	70	80	77	273
市職員以外	122	107	69	79	377
合計	168	177	149	156	650

3) 実施期間 平成21年11月24日（火）～27日（金）

4) 実施方法

- ・マイカーを使用せず、路線バス・他車への相乗り・自転車・徒歩による通勤の実施（路線バスのダイヤと停留所は現状のまま）
- ・路線バスダイヤの都合上、自宅から本線及び南線など主な路線の近くまでマイカーを使い、バス停近くの駐車場から、マイカーを置いて路線バスに乗る“パーク&ライド”の実施環境を確保した。

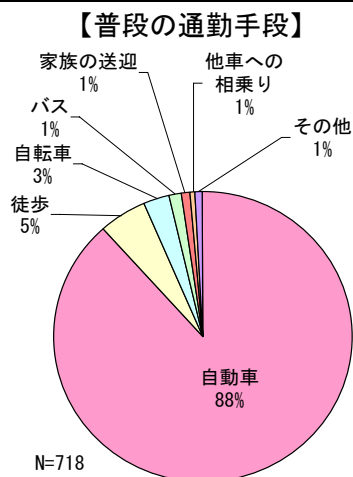
【パーク&ライド駐車場】 市の関係施設駐車場 15ヶ所

5) 実施効果 CO₂削減量 24.8t

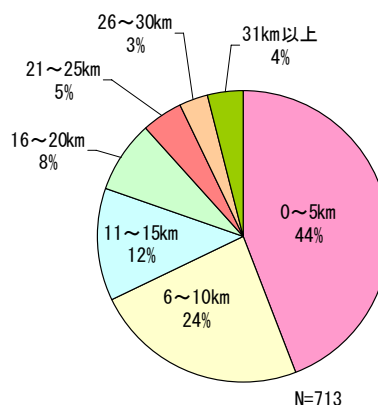
アンケートの概要 回答数 719名

■現状について

通勤距離が短い、車で通勤している人が多い。

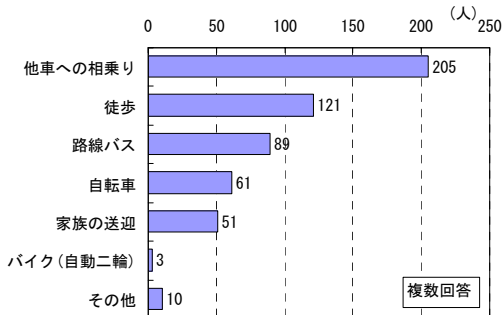


【自宅から勤務先までの距離】

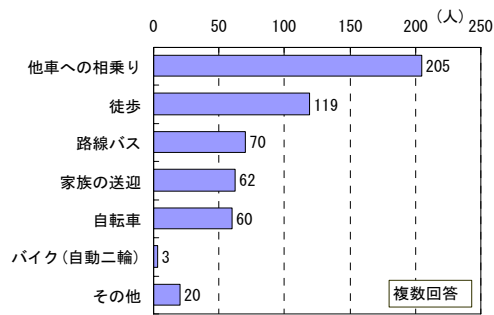


他車への相乗りが 205 人と最も多く、路線バスを利用した人は 70~89 人で 3 番目に多い。また、徒歩が 119~121 人と 2 番目に多い状況であり、徒歩で通勤できるが普段は自動車を利用している人が少ない。(※ 公共交通の利用促進ではないが、環境について考えるノーマイカーデーとすると、大きな改善効果の一步といえる。)

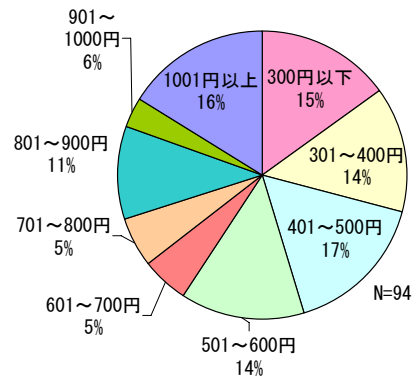
【実施日の交通手段（通勤）】



【実施日の交通手段（退勤）】



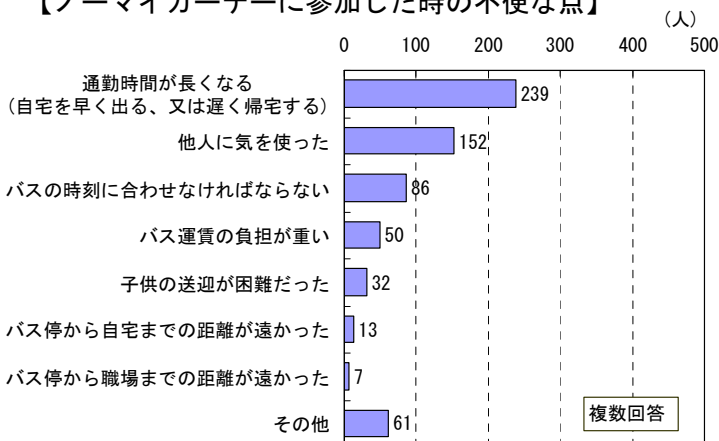
バスを使用した場合、1,001 円以上支払った人は、バス利用者の 16%になる。



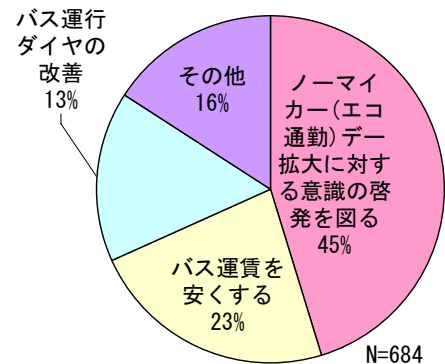
■ノーマイカーデーの改善点

通勤時間が長く不便な点があるが、個別の改善よりもノーマイカーデーに対する意識改革が必要である。

【ノーマイカーデーに参加した時の不便な点】



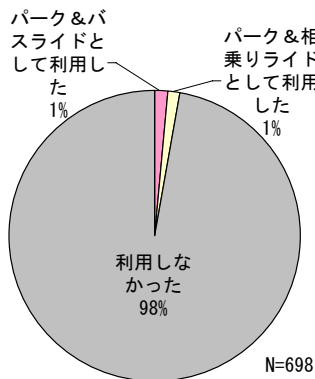
【必要な改善点】



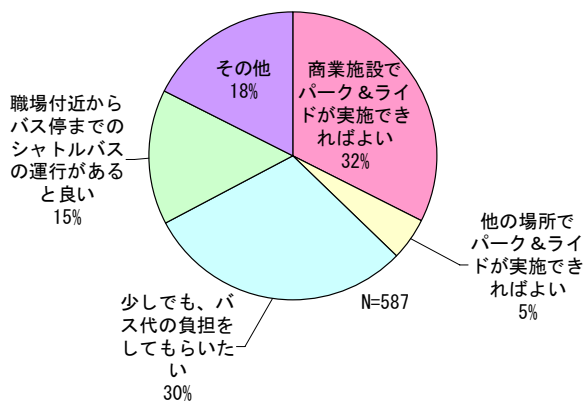
■パーク＆ライド

今回のパーク＆ライドを実施した人は 1% (9 人) であり、改善点として、商業施設での実施希望が 32%、運賃の引き下げが 30%であった。よって、今回のパーク＆ライドの位置では利用しにくかったようである。

【パーク＆ライドの実施の有無】



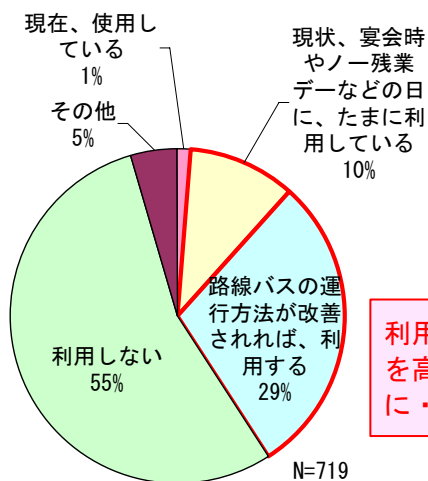
【パーク＆ライドの改善点】



■路線バスの利用促進策

路線バスの利用を高めるためには、「運賃の引き下げ」と「バスダイヤの改善」の希望が 70 人以上となっている。

【通勤・退勤時に路線バスを利用する可能性】



利用の可能性を高めるために・・・

【どのような改善内容】

